

単元指導計画例（第6学年） 江戸川区立大杉小学校

▶ 単元概要

単元名	Unit 1 This is me!	教科書ページ	pp.6-15
		配当時間	8 時間
単元目標	お互いのことをよく知るために、好きなものや宝物などについて、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、好きなものや宝物などについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。	学習時期	4～5 月
		関連の他教科	道徳
主な表現	【好きなもの】 What ... do you like? / I like ... 【宝物】 What is your treasure? / My treasure is ... / It's from ... 【その他】 I'm from ... / I'm good at ... / Any questions?		
主な語彙	遊び / スポーツ / 身の回りのもの / 人 / 家族 など	場面	教室 / 転校生の自己紹介
働き・機能	発表する、紹介する、説明する、質問する、答える		
工夫（ストラテジー）	発表している人に質問する		

▶ 評価規準例 Unit 1 の全ての評価規準例は指導書『研究編』 p.85 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話（発表）＝話すこと（発表） / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動	記録に残す評価		
Starting Out （第1時） ※好きなものや宝物などについてのやり取りの概要を捉える。					
1	6 ～ 7	導入（20分）	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。		
		展開 (20分)		Listen and Think	<ul style="list-style-type: none"> ・ イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・ 音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・ アニメを見て、会話内容を確認する。
				Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、自分の名前を書く。
		まとめ（5分）		本時の学習を振り返る。	
Starting Out （第2時） ※好きなものや宝物などについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	6 ～ 7	導入（15分）	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (25分)		Let's Chant	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・ 必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。
				Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。
				Watch and Think	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映像を見て、1の答えを確認する。 ・ 自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。
まとめ（5分）	本時の学習を振り返る。				
Your Turn （第3時） ※好きなものについて、友達と紹介し合ったり書いたりする。					
3	8 ～ 9	導入（10分）	Let's Listen 1・Let's Try 1：聞くこと / ●知・技 知 I like ... や My treasure is ... およびその関連語句について理解している。 技好きなものや宝物とその理由などについてのやり取りや短い話を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。		
		展開 (30分)		Let's Watch 1	自己紹介の内容や、好きなものの伝え方を確認する。
				Let's Listen 1	やり取りを聞いて、好きなものを聞き取る。
				Let's Chant	"My treasure is this ball."
				Let's Try 1	ペアで好きなものなどをたずね合う。
まとめ（5分）	Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、好きなことを書く。			
まとめ（5分）	本時の学習を振り返る。				

Your Turn (第4時) ※宝物とその理由について、友達と紹介し合ったり書いたりする。					
4	8 ~ 9	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.14) の「Ffの音」 / Small Talk “What sport do you like?” / 目標の確認	Let's Listen 2・Let's Try 2 : 聞くこと / ●知・技 【知】【I like ... や My treasure is ... およびその関連語句】について理解している。 【技】好きなものや宝物とその理由などについてのやり取りや短い話を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
		展開 (25分)	Let's Watch 2	宝物やその理由の伝え方を確認する。	
			Let's Listen 2	やり取りを聞いて、宝物と、それくれた人を聞き取る。	
			Let's Chant	“My treasure is this ball.”	
			Let's Try 2	宝物とその理由をペアでたずね合う。	
		Let's Read and Write		例文の音声聞いて読み、自分の宝物を書く。	
まとめ (5分)		p.9の「ふり返し」を確認する。			
Enjoy Communication (第5時) ※好きなものや宝物などについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、発表の内容を考える。					
5	10 ~ 11	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.15) の「Ggの音」 / Small Talk “What is your treasure?” / 目標の確認	Step 2 : 話 (発表) / ●知・技 【知】【同上】について理解している。 【技】好きなものや宝物とその理由などについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、好きなものや宝物とその理由などについてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えている。
		展開 (25分)	Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながら音声聞く。	
			Let's Chant	“My treasure is this ball.”	
			Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に考えを記入したり、「宝物紹介カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・ペアで発表とその後のやり取りの練習をし、内容面や態度面の改善をする。	
まとめ (5分)		p.11の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。			
Enjoy Communication (第6時) ※お互いのことをよく知るために、好きなものや宝物などを紹介し合う。					
6	10 ~ 11	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.15) の「Review ①」 / 目標の確認	Your Goal : 話 (発表) / ◆思・判・表 《自分のことを伝えるために、好きなものや宝物とその理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》話している。 Your Goal : 話 (発表) / ★態度 《同上》話そうとしている。
		展開 (30分)	Let's Chant	“My treasure is this ball.” で重要表現の口慣らしをする。	
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、好きなものや宝物などを紹介する。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度発表する。 ・「After 活動のふり返し」に記入し、発表したことを1文書く。	
		まとめ (5分)		p.11の「ふり返し」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43) を確認する。	
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の子供たちの大切なものなどについて考え、世界の文化に対する理解を深める。					
7	12 ~ 13	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.15) の「Aaの音」 / Small Talk “What country do you like?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
		展開 (25分)	文化探検	映像を見て、世界の子供たちの大切なものやその理由を考える。	
				フカボリ! : 映像を見て、日本の支援で途上国に建てられた施設について知り、日本と世界の関係について考える。	
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。	
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	12 ~ 13	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.15) の「聞いてみよう①」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
		展開 (30分)	世界探検	カナダの子供が話す映像を見て、好きなものやカナダの名物や名所を知る。	
			物語探検	少年とネコの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)		p.13の「ふり返し」を確認する。本単元全体も振り返る。	

☞ 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ!や世界探検)にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 2 My Daily Schedule		教科書ページ	pp.16-25
			配当時間	8 時間
単元目標	お互いの生活をよく知るために、日常生活について、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、週末の過ごし方について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。	学習時期	5～6 月	
		関連の他教科	家庭	
主な表現	【日常生活（過ごし方）】 What time do you (usually) ...? / I (usually) (動作) at (時刻). 【日常生活（頻度）】 I usually [always/sometimes/never] 【その他】 Oh, you have / Lucky you! / This is my weekend schedule.			
主な語彙	一日の生活 / 頻度 / 数 など	場面	教室 / オンライン会話	
働き・機能	発表する、説明する、質問する、答える			
工夫（ストラテジー）	発表したあとに内容を加える			

▶ 評価規準例 Unit 2 の全ての評価規準例は指導書『研究編』 p.103 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話（発表）＝話すこと（発表） / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out （第1時） ※日常生活についてのやり取りの概要を捉える。					
1	16 ～ 17	導入 (20分)	挨拶 / SL (p.24) の「Hh の音」 / Let's Sing (歌) "It's Sunday!" / Small Talk "What time is it in New York?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。	
		展開 (20分)	Listen and Think		・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。
			Let's Read and Write		例文の音声を聞いて読み、週末にいつもすることを書く。
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out （第2時） ※日常生活についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	16 ～ 17	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.24) の「Jj の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	Let's Chant		・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。
			Listen and Think		アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。
			Watch and Think		・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn （第3時） ※週末の過ごし方について、友達と紹介し合ったり書いたりする。					
3	18 ～ 19	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.24) の「Ll の音」 / 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try 1 : 聞くこと / ●知・技 知 I always や I usually、I sometimes およびその関連語句について理解している。 技 一日の生活についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。	
		展開 (30分)	Let's Watch		日常生活についてのたずね方や伝え方を確認する。
			Let's Listen 1		やり取りを聞いて、日曜日の過ごし方を聞き取る。
			Let's Chant		"Tell me about your daily schedule."
			Let's Try 1		3つの行動について、週末の何時にするのかをペアでたずね合う。
			Let's Read and Write		例文の音声を聞いて読み、週末にたいしていることを書く。
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				

Your Turn (第4時) ※日常生活について、友達と紹介し合ったり書いたりする。					
4	18 ~ 19	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.24) の「Mm の音」 / Small Talk “What time do you get up?” / 目標の確認	Let's Listen 2・Let's Try 2 : 聞くこと / ●知・技
		展開 (25分)	Let's Listen 2	やり取りを聞いて、家事をする頻度について聞き取る。	知 【I always や I usually、I sometimes およびその関連語句】について理解している。 技 一日の生活についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Chant	“Tell me about your daily schedule.”	
			Let's Try 2	ふだんの生活でしていることの頻度をペアで紹介し合う。	
		Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、週末にときどきすることを書く。		
まとめ (5分)		p.19の「ふり返り」を確認する。			
Enjoy Communication (第5時) ※日常生活について、表現を振り返ったり情報を整理したりして、発表の内容を考える。					
5	20 ~ 21	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.25) の「Nn の音」 / Small Talk “What time do you go to bed?” / 目標の確認	Step 2 : 話 (発表) / ●知・技
		展開 (25分)	Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いながら音声を聞く。	知 【同上】について理解している。 技 一日の生活について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、一日の生活について、短い話ややり取りを聞いて概要を捉えている。
			Let's Chant	“Tell me about your daily schedule.”	
			Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に情報を記入したり、「週末の過ごし方カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・ペアで発表とその後のやり取りの練習をし、内容面や態度面の改善をする。	
		まとめ (5分)		p.21の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。	
Enjoy Communication (第6時) ※お互いの生活をよく知るために、週末の過ごし方を紹介し合う。					
6	20 ~ 21	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.25) の「Review ②」 / 目標の確認	Your Goal : 話 (発表) / ◆思・判・表
		展開 (30分)	Let's Chant	“Tell me about your daily schedule.” で重要表現の口慣らしをする。	《自分のことを伝えるために、一日の生活について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》話している。 Your Goal : 話 (発表) / ★態度 《同上》話そうとしている。
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、週末の過ごし方を紹介する。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度発表する。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、発表したことを1文書く。	
		まとめ (5分)		p.21の「ふり返り」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43) を確認する。	
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の学校や子供たちの生活などについて考え、世界の文化に対する理解を深める。					
7	22 ~ 23	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.25) の「Oo の音」 / Small Talk “Tell me about your daily schedule.” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
		展開 (25分)	文化探検		映像を見てアメリカの小学生の一日の過ごし方について知り、自分の学校生活との違いを考える。 フカボリ! : 映像を見て、ニューヨークと日本の天気予報の違いについて考える。
			まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	22 ~ 23	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.25) の「聞いてみよう②」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
		展開 (30分)	世界探検	スウェーデンの子供が話す映像を見て、人気の食べ物や自然現象について知る。	【※1】を参照
			物語探検	少年とネコの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)		p.23の「ふり返り」を確認する。本単元全体も振り返る。	

☞単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ!や世界探検)にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 3 My Weekend		教科書ページ	pp.28-35
			配当時間	8 時間
単元目標	お互いの生活をよく知るために、週末にしたことについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、週末にしたことについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	6～7 月
			関連の他教科	道徳
主な表現	【週末の感想】 How was your weekend? / It was (感想). 【したこと】 I went to / I enjoyed / I ate / I played 【その他】 Sounds good! / How was the weather? / It was (天気). / Are you good at ...? / Cool!			
主な語彙	したこと / 町 / 感想・様子 / スポーツ / 天気 など	場面	教室 / パーティー	
働き・機能	質問する、答える、説明する、感想を言う			
工夫 (ストラテジー)	内容を整理して伝える			

▶ 評価規準例 Unit 3 の全ての評価規準例は指導書『研究編』 p.121 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話 (やり取り) = 話すこと (やり取り) / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out (第 1 時) ※週末にしたことについてのやり取りの概要を捉える。					
1	26 ~ 27	展開 (30分)	導入 (20分)	挨拶 / SL (p.34) の「Kk の音」 / Let's Sing (歌) "How was your weekend?" / Small Talk "What do you do on weekends?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、週末に行った場所を書く。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out (第 2 時) ※週末にしたことについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	26 ~ 27	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.34) の「Pp の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
		Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。		
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn (第 3 時) ※週末にしたことについて、友達と伝え合ったり書いたりする。					
3	28 ~ 29	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.34) の「Rr の音」 / 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try 1: 聞くこと / ●知・技 【知】 I went to や I enjoyed, I ate, It was およびその関連語句について理解している。 【技】 週末にしたことについてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Watch	週末にしたことや感想のたずね方や答え方を確認する。	
			Let's Listen 1	やり取りを聞いて、週末にしたことを聞き取る。	
			Let's Chant	"It was great!"	
			Let's Try 1	週末をしたことをペアで伝え合う。	
			Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、週末に楽しんだことを書く。	
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				

Your Turn (第4時) ※週末についての感想やしたことを伝え合ったり書いたりする。					
4	28 ~ 29	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.34) の「Ssの音」 / Small Talk “How was your breakfast?” / 目標の確認	Let's Try 2 : 聞くこと / ●知・技 【知】【I went to や I enjoyed, I ate, It was およびその関連語句】について理解している。 【技】週末にしたことについてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
		展開 (25分)	Let's Listen 2	やり取りを聞いて、週末の感想やしたことについて聞き取る。	
			Let's Chant	“It was great!”	
			Let's Try 2	週末の感想やしたことについてペアでたずね合う。	
		Let's Read and Write	例文の音声を読んで読み、週末に食べたものを書く。		
まとめ (5分)		p.29の「ふり返り」を確認する。			
Enjoy Communication (第5時) ※週末についての感想やしたことについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、やり取りで伝える内容を考える。					
5	30 ~ 31	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.35) の「Ttの音」 / Small Talk “How was your dinner last night?” / 目標の確認	Step 2 : 話 (やり取り) / ●知・技 【知】【同上】について理解している。 【技】週末にしたことについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、週末にしたことについて、やり取りを聞いて概要を捉えている。
		展開 (25分)	Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。	
			Let's Chant	“It was great!”	
			Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に考えを記入したり、「週末にしたことカード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・週末の感想やしたことについてペアで伝え合い、内容面や態度面の改善をする。	
		まとめ (5分)		p.31の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。	
Enjoy Communication (第6時) ※お互いの生活をよく知るために、週末にしたことを伝え合う。					
6	30 ~ 31	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.35) の「Review ③」 / 目標の確認	Your Goal : 話 (やり取り) / ◆思・判・表 《自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、週末にしたことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。
		展開 (30分)	Let's Chant	“It was great!” で重要表現の口慣らしをする。	
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、週末にしたことを伝え合う。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度やり取りする。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、言ったことを1文書く。	
		まとめ (5分)		p.31の「ふり返り」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43) を確認する。	
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の人が休みの日にしていることなどについて考え、世界の文化に対する理解を深める。					
7	32 ~ 33	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.35) の「Uuの音」 / Small Talk “How was your summer vacation?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
		展開 (25分)	文化探検		
			映像を見て世界の子供が昨年夏休みにしたことについて知り、自分の(日本の)夏休みとの違いを考える。 フカボリ! : 映像を見て、スペインの夏祭りについて知る。		
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。	
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	32 ~ 33	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.35) の「聞いてみよう③」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
		展開 (30分)	世界探検		
			インドの子供が話す映像を見て、週末にしたことやインドの食べ物について知る。 少年とネコの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。		
		まとめ (5分)		p.33の「ふり返り」を確認する。本単元全体も振り返る。	
 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ!や世界探検)にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。					

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Check Your Steps 1 発信！わたしのニュースあれこれ		教科書ページ	pp.36-37
			配当時間	2時間
単元目標	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。		学習時期	7月
			関連の他教科	—
主な表現	【既習事項の復習】I like / My treasure is / It's from / I (頻度) ... (日常生活). / I went to / It was など			
主な語彙	遊び / 身の回りのもの / 動作 / したこと / 町 など	場面	教室での発表	
働き・機能	発表する、説明する、報告する			
工夫 (ストラテジー)	聞き手と目を合わせて話す			

▶ 評価規準例 ※◎の付いた観点・領域は、記録に残す評価を行うことを推奨する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識>【好きなものや宝物、一日の生活、したことなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。</p> <p><技能>日常生活や最近の出来事についての発表を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。</p>	相手のことをよく知るために、日常生活や最近の出来事について、短い話を聞いて概要を捉えている。	相手のことをよく知るために、日常生活や最近の出来事についての短い話の概要を聞き取ろうとしている。
話すこと(発表)	<p><知識>【同上】について理解している。◎</p> <p><技能>日常生活や最近の出来事について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。◎</p>	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。◎	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話そうとしている。◎

▶ 「話すこと(発表)」の評価ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A (十分満足できる)	Bに加えて、今までに学んだ簡単な語句や基本的な表現を入れて、十分に正しく話すことができる。	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事などについて、伝える内容や順番などを十分に整理したうえで話すことができる。	自分のことを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して十分に分かりやすく話すことができる。
B (おおむね満足できる)	<p>①好きなものや宝物</p> <p>②日常生活、習慣</p> <p>③最近の出来事</p> について、おおむね正しく話すことができる。	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事などについて、伝える内容や順番などを整理したうえで話すことができる。	自分のことを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して分かりやすく話すことができる。
C (努力を要する)	Bに満たない。	Bに満たない。	Bに満たない。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（発表）＝話すこと（発表） / MPD＝My Picture Dictionary

知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		◎記録に残す評価	
1	36 ～ 37	※本時の目標		お互いのことをよく知るために、日常生活や最近の出来事について、具体的な情報を聞き取ったり、内容を整理したうえで話したりすることができる。	
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 1～3 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk	好きなことや宝物、日常生活や最近したことなどについて、指導者と児童でやり取りする。実態に応じ、児童どうしてもやり取りする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・映像を視聴し、単元の目標やゴール活動について確認する。 ・必要な表現や語彙を確認する。必要に応じて全員でルーブリックを共有する。	STEP：話（発表） / ●知・技 ☑【好きなものや宝物、一日の生活、したことなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。 ☑日常生活や最近の出来事について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
			HOP	・メグの発表の音声を聞き、分かったことを記入欄に書く。 ・分かったことをペアや全体で確認する。	
STEP	・p.37のチャートで、考えや情報を整理する。 ・個別学習の時間。児童は、教科書の映像や音声を視聴して Unit 1～3 の学習を振り返ったり、MPD で語句の確認をしたりする。 ・ペアで発表の練習をする。指導者は必要に応じて中間指導を行う。 ・p.36の「発表で工夫したいことを書こう。」に記入する。				
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
2	36 ～ 37	※本時の目標		自分のことをよく伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで話すことができる。	
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 1～3 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk など	第1時と同様の活動を行うか、Unit 1～3 の Let's Chant の中から 1～2 曲を選び、全員で歌って口慣らしをする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・前時の取り組みで良かった点や振り返りをクラスで共有する。 ・Your Goal の動画を視聴したり、活動の目的やルーブリックを再度確認したりする。また、前時に記入した「発表で工夫したいことを書こう。」を確認する。	JUMP：話（発表） / ◆思・判・表 《自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。 JUMP：話（発表） / ★態度 《同上》話そうとしている。
			JUMP	・ローテーション形式で、相手をかえて何度か発表する。 ・指導者は中間指導を行い、良いスピーチとなるための工夫を全体で確認する。 ・何度か繰り返し実施した後、相互評価をする。	
まとめ (10分)	・MPD の CAN-DO の樹 (pp.42-43) を確認し、自己評価する。 ・（可能であれば）1学期のまとめとして、発表を録音し提出する。 ・教科書 p.37 の JUMP に記入する。 ・指導者は1学期のフィードバックとして、児童の成長に触れ、自信をもたせる。				

▶ 単元概要

単元名	Unit 4 Let's see the world.			教科書ページ	pp.38-47
				配当時間	8 時間
単元目標	行きたい国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、行きたい国とそこでできることについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。			学習時期	9～10 月
				関連の他教科	社会
主な表現	【行きたい国】 Let's go to / Where do you want to go? / I want to go to 【できること】 You can see / You can eat / You can visit / It's 【その他】 Anything else?				
主な語彙	動作 / 感想・様子 / 町 など	場面	教室		
働き・機能	質問する、答える、説明する				
工夫（ストラテジー）	タブレット端末などで写真を見せながら紹介する				

▶ 評価規準例 Unit 4 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.143 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話（やり取り）＝話すこと（やり取り） / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out （第 1 時） ※行きたい国とそこでできることについてのやり取りの概要を捉える。					
1	38 ～ 39	展開 (30分)	導入 (20 分)	挨拶 / SL (p.46) の「Vv の音」 / Let's Sing (歌) "I want to go to America!" / Small Talk "What's this country?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。	
	まとめ (5 分)	本時の学習を振り返る。			
Starting Out （第 2 時） ※行きたい国とそこでできることについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	38 ～ 39	展開 (30分)	導入 (10 分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.46) の「Ww の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	"You can eat spicy food."	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
			Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。	
	Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、行きたい国を書く。			
まとめ (5 分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn （第 3 時） ※行きたい国とそこでできることについて、友達と紹介し合う。					
3	40 ～ 41	展開 (30分)	導入 (10 分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.46) の「Yy の音」 / 目標の確認	Let's Listen : 聞くこと / ●知・技 知 Let's go to や You can see [eat / buy], It's, Where do you want to go? とその答え方、およびその関連語句について理解している。 技 行きたい国とそこでできることについてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Watch	行きたい国のたずね方や答え方、そこでできることの伝え方を確認する。	
			Let's Listen	やり取りを聞いて、行きたい国とそこでしたいことを聞き取る。	
			Let's Chant	"You can eat spicy food."	
	Let's Try	世界の国でできることをペアで伝え合う。			
まとめ (5 分)	本時の学習を振り返る。				

Your Turn (第4時) ※自分の行きたい国とそこでできることについて調べて、例文を参考に書く。					
4	40 ~ 41	導入 (15分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.46) の「Zzの音」/ Small Talk “Where do you want to go?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。	
		展開 (25分)	Let's Chant		“You can eat spicy food.”
			Let's Read and Write		例を参考に、行きたい国、そこで見られるものや食べられるもの、買えるものなどについて書く。
		まとめ (5分)	p.41の「ふり返り」を確認する。		
Enjoy Communication (第5時) ※行きたい国とそこでできることについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、やり取りで紹介する内容を考える。					
5	42 ~ 43	導入 (15分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.47) の「Xxの音」/ Small Talk “What do you want to eat?” / 目標の確認	Step 2: 話 (やり取り) / ●知・技 【知】【Let's go to ... や You can see [eat / buy] ..., It's ..., Where do you want to go? とその答え方、およびその関連語句】について理解している。 【技】行きたい国とそこでできることについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2: 聞くこと / ◆思・判・表 世界の国の魅力を知るために、行きたい国とそこでできることについて、やり取りを聞いて概要を捉えている。	
		展開 (25分)	Step 1		モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。
			Let's Chant		“You can eat spicy food.”
		Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に情報や考えを記入したり、「行きたい国カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・行きたい国とその魅力についてペアで紹介し合い、内容面や態度面の改善をする。		
まとめ (5分)	p.43の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。				
Enjoy Communication (第6時) ※行きたい国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることを紹介し合う。					
6	42 ~ 43	導入 (10分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.47) の「Review ④」 / 目標の確認	Your Goal: 話 (やり取り) / ◆思・判・表 《世界の国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。 Your Goal: 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。	
		展開 (30分)	Let's Chant		“You can eat spicy food.” で重要表現の口慣らしをする。
			Your Goal		・モデル映像を視聴後、行きたい国とその魅力を紹介し合う。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度やり取りする。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、言ったことを書く。
		まとめ (5分)	p.43の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界遺産の魅力などについて考え、世界の文化に対する理解を深める。					
7	44 ~ 45	導入 (15分)	挨拶 / 歌 / SL (p.47) の「Iiの音」 / Small Talk “What do you want to see?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (25分)	文化探検		海外の世界遺産についての映像を見て、その魅力などを考える。 フカボリ!: 映像を見て、日本の世界遺産について知る。
			まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	44 ~ 45	導入 (10分)	挨拶 / 歌 / SL (p.47) の「聞いてみよう④」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	世界探検		スペインの子供が話す映像を見て、スペインの名所・有名な食べ物・祭りなどについて知る。
			物語探検		ウミガメの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。
		まとめ (5分)	p.45の「ふり返り」を確認する。本単元全体も振り返る。		

☞単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ!や世界探検)にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 5 Where is it from?		教科書ページ	pp.48-59
			配当時間	8 時間
単元目標	自分たちと世界とのつながりを知るために、身の回りのものの生産国について、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、身の回りのものやその生産国について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	10～11 月
			関連の他教科	社会
主な表現	【ものの紹介】 This is my 【どこから来たか】 Where is it from? / It's from / My ... is from (国). / (国) is in (地域). 【オリジナルサンドイッチ】 Tell me about your sandwich. / My sandwich is a ... sandwich. / (アルファベット) is for (食材). 【その他】 ... is a nice country. / We are the ... team. / Can you guess?			
主な語彙	衣類 / 食材 / 文房具 など	場面	家庭 / 教室	
働き・機能	発表する、説明する、質問する、答える			
工夫 (ストラテジー)	聞き手を意識して質問を投げかける			

▶ 評価規準例 Unit 5 の全ての評価規準例は指導書『研究編』 p.161 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話 (発表) = 話すこと (発表) / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out (第1時) ※身の回りのものの生産国についてのやり取りの概要を捉える。					
1	48 ～ 49	展開 (30分)	導入 (20分)	挨拶 / SL (p.58) の「Qq の音」 / Let's Sing (歌) "One Big World" / Small Talk "Where is New Zealand?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out (第2時) ※身の回りのものの生産国についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	48 ～ 49	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.58) の「Ee の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 を参照
			Let's Chant	"Where is this chicken from?"	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
			Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。	
		Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、身の回りのものを書く。		
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn (第3時) ※オリジナルサンドイッチを考え、その食材と産地を伝え合ったり書いたりする。					
3	50 ～ 51	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.58) の「Review ⑤」 / 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try : 聞くこと / ● 知・技 【知】 This is ..., It's from ..., 国名 is in 地域、およびその関連語句について理解している。 【技】 身の回りのものとその生産国についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Watch	身の回りのものたずね方や紹介の仕方を確認する。	
			Let's Listen 1	やり取りを聞いて、食材や産地を聞き取る。	
			Let's Chant	"Where is this chicken from?"	
		Let's Try	オリジナルサンドイッチを考え、食材と産地をたずね合う。		
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				

Your Turn (第4時) ※身の回りのものの生産国やその地域を調べて、例文を参考に書く。					
4	50 ~ 51	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.58) の「聞いてみよう⑤」 / Small Talk "What vegetable do you like?" / 目標の確認	Let's Listen 2 : 聞くこと / ●知・技 【This is, It's from, 国名 is in 地域、およびその関連語句】について理解している。 【技】身の回りのものとその生産国についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Chant	"Where is this chicken from?"	
			Let's Listen 2	やり取りを聞いて、Tシャツの生産国を聞き取って書く。	
		Let's Read and Write	・グループで調べるジャンルを決める (食べ物・文房具など)。 ・身の回りのものの生産国と、その国が属する地域を書く。		
		まとめ (5分)	p.51 の「ふり返り」を確認する。		
Enjoy Communication (第5時) ※身の回りのものの生産国について、表現を振り返ったり情報を整理したりして、グループ発表の内容を考える。					
5	52 ~ 53	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.59) の「Review ⑥」 / Small Talk "Is your glue from Japan?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (発表) / ●知・技 【同上】について理解している。 【技】身の回りのものとその生産国について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
			Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。	
			Let's Chant	"Where is this chicken from?"	
		Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に前時に調べたことを記入したり、「世界とのつながりカード」を作ったりしながら、グループで発表する内容を考える。 ・ペアやグループで発表とその後のやり取りの練習をし、内容面や態度面の改善をする。		
		まとめ (5分)	p.53 の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。		
Enjoy Communication (第6時) ※自分たちと世界とのつながりについて知るために、身の回りのものの生産国などをグループで発表する。					
6	52 ~ 53	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.59) の「聞いてみよう⑥」 / 目標の確認	Your Goal : 聞くこと / ◆思・判・表 自分たちと世界とのつながりをよく知るために、身の回りのものとその生産国についてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えている。 Your Goal : 話 (発表) / ◆思・判・表 《自分たちと世界とのつながりを伝えるために、身の回りのものとその生産国について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどをグループで》発表している。 Your Goal : 話 (発表) / ★態度 《同上》協力して発表しようとしている。
			Let's Chant	"Where is this chicken from?" で重要表現の口慣らしをする。	
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、身の回りのものがどの国から来たのかなどについてグループで発表する。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度発表する。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、発表したことを書く。	
		まとめ (5分)	p.53 の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、日本と世界との交流の歴史などについて考え、日本と世界とのつながりに対する理解を深める。					
7	54 ~ 57	展開 (25分)	導入 (15分)	挨拶 / 歌 / SL (p.59) の「Review ⑦」 / Small Talk "Where is your water bottle from?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			文化探検	シルクロードやそこを ^{ほつもつ} って日本にやって来た宝物の映像を見て、日本と世界との交流について考える。 フカボリ! : pp.56-57 を見て、番号の音声を聞いたり、日本と世界との関係について考えたりする。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	54 ~ 57	展開 (20分)	導入 (10分)	挨拶 / 歌 / SL (p.59) の「聞いてみよう⑦」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			世界探検	ガーナの子供が話す映像を見て、ガーナの名産品やゆかりのある日本人について知る。	
		物語探検	ウミガメの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。		
		まとめ (5分)	p.55 の「ふり返り」を確認する。本単元全体も振り返る。		

☞単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ!や世界探検)にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 6 Save the animals.			教科書ページ	pp.60-69
				配当時間	8 時間
単元目標	生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所や直面する問題、生き物のためにできることについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、それらについて、例文を読んだり、例文を参考に書いたりすることができる。			学習時期	11～12 月
				関連の他教科	理科
主な表現	【生き物】 Let's save the / Where do ... live? / ... live in 【抱える問題・できること】 ... is a big problem. / We can 【その他】 I have an idea. / Nice idea!				
主な語彙	自然 / 海の生き物 / 生き物の問題・できること / 動物 など	場面	家庭 / 教室		
働き・機能	発表する、説明する				
工夫（ストラテジー）	みんなで協力する				

▶ 評価規準例 Unit 6 の全ての評価規準例は指導書『研究編』 p.179 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話（発表）＝話すこと（発表） / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out （第 1 時） ※世界が抱える環境問題などについてのやり取りの概要を捉える。					
1	60 ～ 61	展開 (30分)	導入 (20 分)	挨拶 / SL (p.68) の「ch の音」 / Let's Sing (歌) "We all live together." / Small Talk "What animal do you like?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Listen and Think	・ イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・ 音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・ アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Chant	・ 一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・ 必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。	
		まとめ (5 分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out （第 2 時） ※世界が抱える環境問題などについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	60 ～ 61	展開 (30分)	導入 (10 分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.68) の「sh の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 を参照
			Let's Chant	"Let's save the animals!"	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
			Watch and Think	・ 映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・ 自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。	
		Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、救いたい生き物を書く。		
まとめ (5 分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn （第 3 時） ※生き物が暮らす場所について、友達とたずね合う。					
3	62 ～ 63	展開 (30分)	導入 (10 分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.68) の「th の音①」 / 目標の確認	Let's Listen : 聞くこと / ●知・技 [知] Let's save、Where do 生き物名 live? とその答え方、... is a big problem.、We can、およびその関連語句について理解している。 [技] 生き物が暮らす場所と直面する問題についてのスピーチを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Watch	生き物の暮らす場所や抱える問題の言い方を確認する。	
			Let's Listen	スピーチを聞いて、生き物の暮らす場所と抱える問題を聞き取る。	
			Let's Chant	"Let's save the animals!"	
		Let's Try	生き物の暮らす場所をペアでたずね合う。		
まとめ (5 分)	本時の学習を振り返る。				

Your Turn (第4時) ※生き物のためにできることについて読んだり、生き物が暮らす場所や抱えている問題について例文を参考に書いたりする。						
4	62 ~ 63	導入 (15分)		(歌)/ 挨拶 / SL (p.68) の「thの音②」 / Small Talk “What do penguins eat?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。	
		展開 (25分)	Let's Chant	“Let's save the animals!”		
			Let's Read	写真などをヒントに、慣れ親しんだ文で書かれたポスターを読む。		
			Let's Read and Write	生き物が暮らす場所と、抱えている問題を書く。		
まとめ (5分)		p.63の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication (第5時) ※救いたい生き物や身近でできることについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、発表の内容を考える。						
5	64 ~ 65	導入 (15分)		(歌)/ 挨拶 / SL (p.69) の「whの音」 / Small Talk “Where do lions live?” / 目標の確認	Step 2: 話 (発表) / ●知・技 【知】【Let's save ..., Where do 生き物名 live? とその答え方、... is a big problem、We can ..., およびその関連語句】について理解している。 【技】生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。 Step 2: 聞くこと / ◆思・判・表 生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについての短い話を聞いて概要を捉えている。	
		展開 (25分)	Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。		
			Let's Chant	“Let's save the animals!”		
			Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に情報や考えを記入したり、「わたしたちができることカード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・ペアやグループで発表の練習をし、内容面や態度面の改善をする。		
まとめ (5分)		p.65の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。				
Enjoy Communication (第6時) ※生き物への理解を深めるために、生き物のことや身近でできることを発表し合う。						
6	64 ~ 65	導入 (10分)		(歌)/ 挨拶 / SL (p.69) の「Review ⑧」 / 目標の確認	Your Goal: 話 (発表) / ◆思・判・表 《生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》話している。 Your Goal: 話 (発表) / ★態度 《同上》話そうとしている。	
		展開 (30分)	Let's Chant	“Let's save the animals!” で重要表現の口慣らしをする。		
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、生き物のために身近でできることについて発表する。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度発表する。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、発表したことを書く。		
			まとめ (5分)			p.65の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の生き物と日本の関係について考え、世界の生き物が抱えている問題に対する理解を深める。						
7	66 ~ 67	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.69) の「Review ⑨」 / Small Talk “What can we do for the sea turtles?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (25分)	文化探検	ボルネオ島のゾウの映像を見て、世界の生き物が抱える問題について考える。 フカボリ! : 生態系などに配慮した農作物の生産について考える。		
			まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。
		Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。				
8	66 ~ 67	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.69) の「聞いてみよう⑧」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	世界探検	ブラジルの子供が話す映像を見て、アマゾンの熱帯雨林の特徴や抱える問題について知る。		
			物語探検	ウミガメの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。		
		まとめ (5分)		p.67の「ふり返り」を確認する。本単元全体も振り返る。		

☞ 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ! や世界探検) にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Check Your Steps 2 始めよう！地球のためにできること		教科書ページ	pp.70-71
			配当時間	2時間
単元目標	地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。		学習時期	12月
			関連の他教科	—
主な表現	【既習事項の復習】I want to go to / You can see [eat/visit] / It's / My ... is from (国). / (国) is in (地域). / Let's save / ... live in / ... is a big problem. / We can など			
主な語彙	動作 / 感想・様子 / 生き物の問題・できること など	場面	教室でのポスター発表	
働き・機能	発表する、説明する			
工夫（ストラテジー）	特に伝えたい大事な部分はゆっくり話す			

▶ 評価規準例 ※◎の付いた観点・領域は、記録に残す評価を行うことを推奨する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識>【生き物や地球のためにできることなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。</p> <p><技能>生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについての発表を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。</p>	<p>地球に対する相手の考えをよく知るために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについての短い話を聞いて概要を捉えている。</p>	<p>地球に対する相手の考えをよく知るために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについての短い話の概要を聞き取ろうとしている。</p>
話すこと(発表)	<p><知識>【同上】について理解している。◎</p> <p><技能>生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。◎</p>	<p>地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。◎</p>	<p>地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話そうとしている。◎</p>

▶ 「話すこと(発表)」の評価ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A（十分満足できる）	Bに加えて、今までに学んだ簡単な語句や基本的な表現を入れて、十分に正しく話すことができる。	地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、伝える内容や順番などを十分に整理したうえで話すことができる。	地球に対する自分の考えを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して十分に分かりやすく話すことができる。
B（おおむね満足できる）	①生き物や地球が直面する問題 ②自分たちができることについて、おおむね正しく話すことができる。	地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、伝える内容や順番などを整理したうえで話すことができる。	地球に対する自分の考えを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して分かりやすく話すことができる。
C（努力を要する）	Bに満たない。	Bに満たない。	Bに満たない。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（発表）＝話すこと（発表） / MPD=My Picture Dictionary
 知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		◎記録に残す評価	
1	70 ～ 71	※本時の目標		地球に対するお互いの考えを知るために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、具体的な情報を聞き取ったり、内容を整理したうえで話したりすることができる。	
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 4～6 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk	行きたい国や身の回りのもの、救いたい生き物などについて、指導者と児童でやり取りする。実態に応じ、児童どうしてもやり取りする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・映像を視聴し、単元の目標やゴール活動について確認する。 ・必要な表現や語彙を確認する。必要に応じて全員でルーブリックを共有する。	STEP：話（発表） / ●知・技 ☑【生き物や地球のためにできることなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。 ☒ 生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
			HOP	・元気の発表の音声を聞き、分かったことを記入欄に書く。 ・分かったことをペアや全体で確認する。	
STEP	・p.71 のマッピングで、考えや情報を整理する。 ・個別学習の時間。児童は、教科書の映像や音声を視聴して Unit 4～6 の学習を振り返ったり、MPD で語句の確認をしたりする。 ・ペアで発表の練習をする。指導者は必要に応じて中間指導を行う。 ・p.70 の「発表で工夫したいことを書こう。」に記入する。				
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
2	70 ～ 71	※本時の目標		地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで話すことができる。	
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 4～6 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk など	第 1 時と同様の活動を行うか、Unit 4～6 の Let's Chant の中から 1～2 曲を選び、全員で歌って口慣らしをする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・前時の取り組みで良かった点や振り返りをクラスで共有する。 ・Your Goal の動画を視聴したり、活動の目的やルーブリックを再度確認したりする。また、前時に記入した「発表で工夫したいことを書こう。」を確認する。	JUMP：話（発表） / ◆思・判・表 《地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを》話している。 JUMP：話（発表） / ★態度 《同上》話そうとしている。
			JUMP	・ポスターセッション形式で、相手をかえて何度か発表する。 ・指導者は中間指導を行い、良いスピーチとなるための工夫を全体で確認する。 ・何度か繰り返し実施した後、相互評価をする。	
まとめ (10分)		・MPD の CAN-DO の樹 (pp.42-43) を確認し、自己評価する。 ・（可能であれば）2 学期のまとめとして、発表を録音し提出する。 ・教科書 p.71 の JUMP に記入する。 ・指導者は 2 学期のフィードバックとして、児童の成長に触れ、自信をもたせる。			

▶ 単元概要

単元名	Unit 7 My Best Memory		教科書ページ	pp.72-81
			配当時間	8 時間
単元目標	お互いのことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出について聞き取ったり紹介したりすることができる。また、小学校生活の一番の思い出について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	1～2 月
			関連の他教科	道徳
主な表現	【思い出】 What's your best memory? / My best memory is 【したことや感想】 What did you do? / We went to / We ate [saw] / It was 【その他】 How was ...? / Nice talking to you.			
主な語彙	したこと / 学校行事 / 町 / 感想・様子 など	場面	教室 / オンライン会話	
働き・機能	質問する、答える、説明する、感想を言う			
工夫（ストラテジー）	これまで学習した表現を使う			

▶ 評価規準例 Unit 7 の全ての評価規準例は指導書『研究編』 p.201 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話（やり取り）＝話すこと（やり取り） / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out （第 1 時） ※小学校生活の思い出についてのやり取りの概要を捉える。					
1	72 ～ 73	導入（20分）		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。	
		展開 (30分)	Listen and Think		<ul style="list-style-type: none"> イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 アニメを見て、会話内容を確認する。
			Let's Chant		<ul style="list-style-type: none"> 一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。
		まとめ（5分）			本時の学習を振り返る。
Starting Out （第 2 時） ※小学校生活の思い出についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	72 ～ 73	導入（10分）		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 を参照	
		展開 (30分)	Let's Chant		“What's your best memory?”
			Listen and Think		アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。
			Watch and Think		<ul style="list-style-type: none"> 映像を見て、1の答えを確認する。 自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。
			Let's Read and Write		例文の音声を聞いて読み、一番の思い出を書く。
まとめ（5分）		本時の学習を振り返る。			
Your Turn （第 3 時） ※小学校生活の一番の思い出について、友達と伝え合う。					
3	74 ～ 75	導入（10分）		Let's Listen 1・Let's Try : 聞くこと / ●知・技 ㊦ What's your best memory?、 My best memory is、 We went to、 It was、 およびその関連語句について理解している。 ㊧ 小学校生活の一番の思い出についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。	
		展開 (30分)	Let's Watch		一番の思い出のたずね方や答え方を確認する。
			Let's Listen 1		やり取りを聞いて、小学校生活の一番の思い出を聞き取る。
			Let's Chant		“What's your best memory?”
			Let's Try		小学校生活の一番の思い出などをペアでたずね合う。
まとめ（5分）		本時の学習を振り返る。			

Your Turn (第4時) ※小学校生活の一番の思い出について読んだり、例文を参考に書いたりする。							
4	74 ~ 75	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.80) の④の英文を読む。 / Small Talk "What school event do you like?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (25分)	Let's Chant	"What's your best memory?"			
			Let's Read	・写真などをヒントに、慣れ親しんだ文で書かれたメモを読む。 ・ペアでメモを声に出して読み合う。			
			Let's Listen 2	発表の音声を聞き、自分たちの読み方と比べる。			
			Let's Read and Write	p.74 の Let's Read and Write に取り組む。例文の音声を聞いて読み、一番の思い出について「したこと」や「感想」を書く。			
まとめ (5分)		p.75 の「ふり返り」を確認する。					
Enjoy Communication (第5時) ※小学校生活の一番の思い出について、表現を振り返ったり情報を整理したりして、やり取りで伝える内容を考える。							
5	76 ~ 77	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.81) の⑤の英文を読む。 / Small Talk "How was your school trip?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (やり取り) / ●知・技 知 【What's your best memory?, My best memory is ..., We went to ..., It was ..., およびその関連語句】について理解している。 扱 小学校生活の一番の思い出について、 【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出についてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えている。		
		展開 (25分)	Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。			
			Let's Chant	"What's your best memory?"			
			Step 2	・MPD で活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に情報や考えを記入したり、「思い出カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・小学校生活の思い出などについてペアで伝え合い、内容面や態度面の改善をする。			
まとめ (5分)		p.77 の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。					
Enjoy Communication (第6時) ※お互いのことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出などを伝え合う。							
6	76 ~ 77	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.81) の⑥の英文を読む。 / 目標の確認	Your Goal : 話 (やり取り) / ◆思・判・表 《自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。		
		展開 (20分)	Let's Chant	"What's your best memory?" で重要表現の口慣らしをする。			
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、小学校生活の思い出などを伝え合う。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度やり取りする。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、会話したことを書く。			
			まとめ (5分)			p.77 の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。	
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の小学校の生活や行事などについて考え、世界の文化に対する理解を深める。							
7	78 ~ 79	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.81) の⑦の英文を読む。 / Small Talk "What's your best memory?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (25分)	文化探検			イギリスの小学校の行事についての映像を見て、自分の学校との違いなどについて考える。 フカボリ! : 外国の小学生におすすめしたい日本の行事について考える。	
			まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。	
			まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。	
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。							
8	78 ~ 79	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.81) の⑧の英文を読む。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照		
		展開 (30分)	世界探検			中国の子供が話す映像を見て、小学校生活の思い出や、中国と日本の共通点などについて知る。	
			物語探検			マララ・ユスフザイの半生や名言を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)		p.79 の「ふり返り」を確認する。本単元全体も振り返る。			

📌 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ! や世界探検) にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 8 My Future, My Dream		教科書ページ	pp.82-91
			配当時間	8 時間
単元目標	お互いの夢を応援するために、将来したいことについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、中学校で入りたい部活動や将来の夢などについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	2～3 月
			関連の他教科	道徳
主な表現	【入りたい部活動】What club do you want to join? / I want to join 【将来の夢】What do you want to be? / I want to be a / I want to work [live/help] 【その他】I like / I'm good at / Good luck!			
主な語彙	部活動 / 職業 / 動作 / 感想・様子 など	場面	教室 / 卒業式 / 空港	
働き・機能	質問する、答える、説明する			
工夫（ストラテジー）	ジェスチャーを使う			

▶ 評価規準例 Unit 8 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.219 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（やり取り）＝話すこと（やり取り）/ SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out （第 1 時） ※中学校でしたいことや将来の夢についてのやり取りの概要を捉える。					
1	82 ～ 83	展開 (20分)	挨拶 / SL (p.90) の⑨の英文を読む。/ Let's Sing (歌) "My Future Dream" / Small Talk "Are you in a club now?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。	
			Listen and Think		・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。
			Let's Chant		・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out （第 2 時） ※中学校でしたいことや将来の夢についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	82 ～ 83	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.90) の⑩の英文を読む。/ 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	"I want to be a star!"	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
			Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。	
		Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、入りたい部活動を書く。		
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn （第 3 時） ※中学校で入りたい部活動や将来の夢について、友達と伝え合う。					
3	84 ～ 85	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.90) の⑪の英文を読む。/ 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try : 聞くこと / ● 知・技 [知] What club do you want to join?, I want to join, What do you want to be?, I want to be およびその関連語句について理解している。 [技] 中学校生活でしたいことや将来の夢についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Watch	入りたい部活動や将来の夢のたずね方や答え方を確認する。	
			Let's Listen 1	会話を聞いて、入りたい部活動と将来の夢を聞き取る。	
			Let's Chant	"I want to be a star!"	
		Let's Try	入りたい部活動と将来の夢をペアでたずね合う。		
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				

Your Turn (第4時) ※中学校で入りたい部活動や将来の夢について読んだり、例文を参考に書いたりする。					
4	84 ~ 85	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.90) の⑫の英文を読む。/ Small Talk "What club do you want to join?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	"I want to be a star!"	
			Let's Read	・写真などをヒントに、慣れ親しんだ文で書かれたメモを読む。 ・ペアでメモを声に出して読み合う。	
			Let's Listen 2	発表の音声を聞き、自分たちの読み方と比べる。	
		Let's Read and Write	p.84 の Let's Read and Write に取り組む。例文の音声を聞いて読み、将来の夢を書く。		
まとめ (5分)	p.85 の「ふり返し」を確認する。				
Enjoy Communication (第5時) ※中学校で入りたい部活動や将来の夢について、表現を振り返ったり情報を整理したりして、やり取りで伝える内容を考える。					
5	86 ~ 87	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.91) の⑬の英文を読む。/ Small Talk "What do you want to be?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (やり取り) / ●知・技 【知】【What club do you want to join?, I want to join ..., What do you want to be?, I want to be およびその関連語句】について理解している。 【技】中学校生活でしたいことや将来の夢について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手の夢を応援するために、中学校生活でしたいことや将来の夢についてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えている。
			Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。	
			Let's Chant	"I want to be a star!"	
		Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に考えを記入したり、「将来カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・入りたい部活動やなりたい職業などについてペアで伝え合い、内容面や態度面の改善をする。		
まとめ (5分)	p.87 の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。				
Enjoy Communication (第6時) ※お互いの夢を応援するために、将来したいことなどを伝え合う。					
6	86 ~ 87	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.91) の⑭の英文を読む。/ 目標の確認	Your Goal : 話 (やり取り) / ◆思・判・表 《お互いの夢を応援するために、中学校生活でしたいことや将来の夢について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。
			Let's Chant	"I want to be a star!" で重要表現の口慣らしをする。	
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、将来したいことなどを伝え合う。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度やり取りする。 ・「After 活動のふり返し」に記入し、会話したことを書く。	
		まとめ (5分)	p.87 の「ふり返し」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、英語を使う仕事などについて考え、英語で広がる世界に対する理解を深める。					
7	88 ~ 89	展開 (25分)	導入 (15分)	挨拶 / 歌 / SL (p.91) の⑮の英文を読む。/ Small Talk "Do you like English?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			文化探検	海外で働く日本人の映像を見て、英語を使う仕事や多様性などについて考える。 フカボリ! : 母語以外の言語を学ぶ理由について考える。	
			まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。	
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	88 ~ 89	展開 (30分)	導入 (10分)	挨拶 / 歌 / SL (p.91) の⑯の英文を読む。/ 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			世界探検	トルコの子供が話す映像を見て、トルコの地理的環境や名所・名物などについて知る。	
			物語探検	中村哲の伝記や名言を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)	p.89 の「ふり返し」を確認する。本単元全体も振り返る。		

📌 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動(フカボリ! や世界探検)にかける時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある(詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照)。

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Check Your Steps 3 卒業！ 今伝えたい、わたしの思い		教科書ページ	pp.92-93
			配当時間	2 時間
単元目標	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。		学習時期	3 月
			関連の他教科	—
主な表現	【既習事項の復習】 My best memory is / We went to / We ate [saw] / It was / I want to join / I want to be a / I want to work [live/help] など			
主な語彙	学校行事 / 感想・様子 / 部活動 / 職業 / 動作 など	場面	教室での発表、メッセージ動画	
働き・機能	発表する、説明する			
工夫（ストラテジー）	感想を伝えたり、相手を応援したりする			

▶ 評価規準例 ※◎の付いた観点・領域は、記録に残す評価を行うことを推奨する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識>【出来事やその感想、したいことなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。</p> <p><技能>小学校生活の思い出や将来の夢についての発表を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。</p>	<p>卒業にあたっての相手の思いを知るために、小学校生活の思い出や将来の夢についての短い話を聞いて概要を捉えている。</p>	<p>卒業にあたっての相手の思いを知るために、小学校生活の思い出や将来の夢についての短い話の概要を聞き取ろうとしている。</p>
話すこと(発表)	<p><知識>【同上】について理解している。◎</p> <p><技能>小学校生活の思い出や将来の夢について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。◎</p>	<p>卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。◎</p>	<p>卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話そうとしている。◎</p>

▶ 「話すこと(発表)」の評価ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A（十分満足できる）	Bに加えて、今までに学んだ簡単な語句や基本的な表現を入れて、十分に正しく話すことができる。	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、伝える内容や順番などを十分に整理したうえで話すことができる。	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して十分に分かりやすく話すことができる。
B（おおむね満足できる）	①小学校生活の一番の思い出 ②中学校で入りたい部活動 ③将来の夢 について、おおむね正しく話すことができる。	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、伝える内容や順番などを整理したうえで話すことができる。	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して分かりやすく話すことができる。
C（努力を要する）	Bに満たない。	Bに満たない。	Bに満たない。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（発表）＝話すこと（発表） / MPD＝My Picture Dictionary

知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		◎記録に残す評価	
1	92 ～ 93	※本時の目標		卒業にあたってのお互いの思いを知るために、小学校生活の思い出や将来の夢について、具体的な情報を聞き取ったり、内容を整理したうえで話したりすることができる。	
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 7～8 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk	小学校生活の思い出や将来の夢などについて、指導者と児童でやり取りする。実態に応じ、児童どうしてもやり取りする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・映像を視聴し、単元の目標やゴール活動について確認する。 ・必要な表現や語彙を確認する。必要に応じて全員でルーブリックを共有する。	STEP：話（発表） / ●知・技 知 【出来事やその感想、したいことなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。 技 小学校生活の思い出や将来の夢について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
			HOP	・七海の発表の音声を聞き、分かったことを記入欄に書く。 ・分かったことをペアや全体で確認する。	
STEP	・p.93のプロフィールシートで、情報を整理する。 ・個別学習の時間。児童は、教科書の映像や音声を視聴して Unit 7～8 の学習を振り返ったり、MPD で語句の確認をしたりする。 ・ペアで発表の練習をする。指導者は必要に応じて中間指導を行う。 ・p.92の「発表で工夫したいことを書こう。」に記入する。				
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
2	92 ～ 93	※本時の目標		卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで話すことができる。	
		導入 (9分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 7～8 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk など	第1時と同様の活動を行うか、Unit 7～8 の Let's Chant を全員で歌って口慣らしをする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・前時の取り組みで良かった点や振り返りをクラスで共有する。 ・Your Goal の動画を視聴したり、活動の目的やルーブリックを再度確認したりする。また、前時に記入した「発表で工夫したいことを書こう。」を確認する。	JUMP：話（発表） / ◆思・判・表 《卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを》話している。 JUMP：話（発表） / ★態度 《同上》話そうとしている。
			JUMP	・発表し、その様子を録画する。または事前に録画したものを視聴し合う。 ・指導者は中間指導を行い、良いスピーチとなるための工夫を全体で確認する。 ・何度か繰り返し実施した後、相互評価をする。	
まとめ (10分)		・MPD の CAN-DO の樹 (pp.42-43) を確認し、自己評価する。 ・（可能であれば）3学期のまとめとして、発表を録音し提出する。 ・教科書 p.93 の JUMP に記入する。 ・指導者は3学期や1年間のフィードバックとして、児童の成長に触れ、中学校生活に向けて自信をもたせる。			